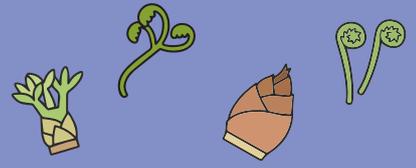


金井ひろし レポート 区政活動報告

- 総括質疑
- 所属委員会 委員長としてご挨拶
- 気仙沼被災者裁判
- タウンミーティング報告



District Administration Report & Activity Report

No.22 2024年 春1号

〒152-0032 東京都目黒区平町 1-21-20-303
TEL 080-5195-2909
E-mail : kanai.hi64@gmail.com

総括質疑を終えて

第1回定例会で総括質疑を行いました。この総括質疑とは文字通り区政を総括して区側に質疑する時間です。本来ならば、区政全般に大げさに言えば大局に立って質問をするのですが、今回は出てきた予算案が6つの重要課題のトップに、【未来を担う子どもを育む環境整備の促進】とありましたので徹底的に「こども」にスポットをあてました。また来年度は、新たな目黒区子ども総合計画が改定される年でもありますので今が重要な時期になるのではないかと思います。質問は4点です。「児童相談所」「学童保育クラブと保育園」「主権者教育」「意見表明権」について取り上げました。



1点目。「児童相談所」について。これは各区に設置する動きがあるものの、スピード感の違いは断然でいち早く設置・運営に動いた世田谷区と

は比べものにならないくらい遅いのが現状です。確かに人材・場所の確保等厳しいのは分かりますが……。そして、運営主体も「東京都」or「〇〇区」と2パターンがあります。細かいところは割愛させていただきますが、目黒区は後者で準備を進めております。しかし、お隣の大田区では昨年、区主体⇒都主体に突然、大きく方針転換をしたのです。これまで準備に関わってきた職員や、地域の方々からすればとてつもない方針転換です。現場の混乱も大きかったことは容易に想像できます。そこで、目黒区の姿勢を問う質問をしたのが1点目。

次に2点目。「学童保育クラブと保育園」について。私はかねてより、保育園と学童保育クラブはセットで考えるべきと主張しております。しかしながら、設置義務がある保育園と努力義務の学童保育クラブでは扱いが違います。他の自治体と比較しても、目黒区の学童保育クラブ事情はまだいい方だと理解はしています。1期目の大きな成果のうち、学童保育クラブのあずかり時間延長（＝保育園と揃えたこと）はありましたが、本年200名を超える待機児童が発生していることを受けてどのように区として対応していくのか質問したのが2点目。



次に3点目。「主権者教育」について。公教育における主権者教育の一環として、目黒区で行われているのは模擬投票です。これは学校から依頼があれば、当該校へ出向き、選挙の仕組みと文字通り模擬投票を行うというものです。いま、全国的に見ると様々な取組をしていることで、何か違った形での取組が出来ないかと思ったのがきっかけです。私は地方自治体議員として働いていますが、やはり国会と違ってニュースになることは不祥事以

外ほとんどありません。そこで、区議会議員をもっと身近に感じてもらえるように、議員自身が出前授業に出向くような試みをしてはどうか、という質問が3点目。

最後の質問は子どもたちの「意見表明権」について取り上げました。中野区で始まった子どもたちの自由な発想で学校をより良くしてもらおうと、東京都中野区は新年度、小学校に20万円、中学校に30万円の予算をそれぞれ配分し、児童・生徒に使い方を決めてもらう。新年度予算案に関連経費670万円を盛り込んだ事例をあげました。さきの一般質問でも取り上げましたが、何を学ぶか、自分で考える。一人一人がかげがえのない存在であり、一人の人間として尊重され、自分の意思で成長していくことが大切にされなければならない。学校教育における自らの意思で学ぶ機会の創出について伺ったのが4点目。

所属委員会 委員長としてご挨拶

議員として2期目、2年目で初めての委員長を拝命いたしました。前期は2年目に文教・子ども委員会、4年目に都市環境委員会の副委員長として仕事をしてきました。初めての委員長職ということで、やはり緊張もしています。本当にしっかりと委員会をまとめられるのか不安も少しあります。知らないことや、教えてもらうこともたくさんある今日この頃です。そして委員長は公正・公平に会議をまとめていかなければなりません。

所属は「文教・子ども委員会」です、子どもたちの保育・教育環境を守り、保護者が安心して働き続けられるためにしっかりと取り組んで参ります。また、ずっとこだわってきた「フ

ルインクルーシブ教育」の実現に向けて、着実に取り組んでいきたいと思っております。

写真・右側が木村あきひろ副委員長。左奥から、鈴木委員、田添委員、坂元委員、はま委員、橋本委員、松嶋委員、増茂委員です。この9人で一年間しっかりと取り組んでいきますのでよろしくお願いいたします。



誰もがともに学び、育ち、「共に生きる！」

Create a society where everyone can learn and grow together and realize "unity in diversity".
누구나 같이 배우고, 성장하고, '같이 사는 세상!' / 全员互助互学, 共同成长, 实现“共生向荣”

立憲民主党

1問目⇒こども家庭センター、この設置を鷹番保育園跡地に令和7年4月の開設を目指して、まずは準備を進めている。また、児童相談所と総合支援拠点を13年度までに整備していくが設置主体は「区」なのか「都」なのかお答えする段階ではない。

2問目⇒学童保育クラブの待機児童が一部の地域で発生しているという状況も踏まえまして、今後の整備の考え方として、短期的には既存施設を最大限活用していく（新規は作らない）。ランランひろばの拡充や定員増で対応していく。

3問目⇒小金井市の事例を見ると、小・中学校よりは高校のほうが、実際の議員さんが行って意見を交わしたり、施策について説明をしていたということになると、小・中学生よりは高校、一部、中学生を対象にやっている自治体も事例としてはあるのですが、高校が適切かなというように考えます。議会のほうで、議員さん方の意向の集約し、議会のほうでどういう仕組みをつくっていただけるのかというのが初めにあり、それと連携して行っていくのがよいと考える。

4問目⇒子どもたちが自分の興味関心や学習上

というか、ハッキリとしたことは言わないので、これからしっかりと注視し、ことある毎にこれらを進めていけるように話し合い、9月の決算特別委員会で取りあげていけたらと思います。引き続きこのレポートでも報告していきます。

令和6年予算特別委員会
3月08日 予算特別委員会 会議録



の課題等に応じた柔軟な学びの中で育んできました自らの意思で学ぶ力、自らの意思で行動する力、こういったことを具体的な取組の中で、実践的に生かすことは重要であると考えてございます。

予算の使い道を決定することは研究してみたいとは思いますが、本区としてどのような取組にこの行動する力を発展させていくとよいか、子どもたちの実態を踏まえながら、検討してまいります。

と言った答弁が返ってきました。詳細はQRコードのリンク先で読めます。やはり慎重というか、何



宮城県気仙沼市の観光PRキャラクター「ホヤほーや」が表敬訪問

2代目ハイディーさん ⇒ 3代目パステアーさんへ

7年間苦楽を共にしてきたハイディーさん。バッテリー交換も1度ありましたね。区長選挙期間中に、大きな音と共にペダルを漕ぐたびに異音が発生。ペダルも漕ぎづらくなりました。自転車屋さんを持ち込むと「買い換え時だね！」と即座に診断。次女の保育園送迎、朝の駅頭、数々の選挙、区民農園にもこれで通いました。様々な思い出の詰まった相棒ですが3代目に引き継ぎます。



ピアノ発表会

小学校1年生から習い始めたピアノも6年目に突入です。コロナ禍の時は発表会もままならない時もありました。そして極度の恥ずかしがり屋さんで人前には出たくない、という性格。そんな彼女も腹をくくると堂々と、そしてノビノビと弾いて、聴衆を魅了します。改めて本番に強いタイプだと思いました。小1の時、教室選びに付き添い、決めたことを昨日のこのように思い出します。小学生最後の発表会はパパと連弾してくれるかな？



気仙沼被災者裁判の報告

3月25日(月)東京地裁で判決が出ました。「被告が被災者で経済的苦境にあったこと、区が安価な公営住宅等の転居先候補を提示しなかったこと」を認めながらも「都営住宅の被災者専用枠による支援のような対応は各自治体の裁量に委ねられている」とし、敗訴となりました。私は、この「各自治体の裁量」が非常に引っかけられました。セーフティネット法で定められているものがあまりにも曖昧すぎるゆえに「できる自治体」は法のもと、しっかりとフォローをし、「できない自治体」は法に書いていないから出来ませんと投げつけてしまう。これはあまりにも不条理ではないか、と考えさせられました。引き続き見守りつつ、出来ることは何か探っていきたいと思えます。



タウンミーティング&勉強会報告

さる、3月17日(日)に緑ヶ丘小学校・ランチルームで行いました。参加者11人でした。そのうち初参加は3名を数えました。定例会の報告、予算特別委員会の進行、議運の資料を用いて議案・陳情の扱われ方もお話ししました。途中から参加してくれた「西崎つばさ」東京都議会議員が都議会報告と質疑を行いました。スピーキングテストの抱える問題、カスタマーハラスメント防止条例新設、莫大な都の予算(8兆4,530億円)の使い方、都庁のプロジェクトマッピングはじめとするムダ遣い等、多いに盛り上がり、予定を変更し続行。時間も延長し、第15回タウンミーティングは終了となりました。

次に5月19日(日)に第16回タウンミーティングを3月同様、緑ヶ丘小学校で開催しました。レポートの発行が間に合わず、ハガキでのお知らせとなりました。そのハガキでしたという方が2名初めて参加してくれました。2-3月の第1定例会の報告、4月の区長選挙の報告と振り返り。これから行われる都議補選の話、議席が増えたことで本会議場のレイアウト変更があったこと等報告しました。また、参加者からもたくさんの質問があり、いつもながら予定時間を大幅に超える会となりました。

次回は【8月25日(日)】場所は今回と同じく緑ヶ丘小学校ランチルームで14時から開催します。ぜひともお越しください。また、12月については会派の仲間も含めて開催できる様、検討中です。



こんにちは! 金井ひろしです。

区政・活動報告レポート No.22 2024年7月26日発行
編集発行人: 金井ひろし 〒152-0032 東京都目黒区平町1-21-20-303
TEL: 080-5195-2909 E-mail: kanai.hi64@gmail.com



facebook



twitter



Official Web Site



金井ひろし E-mail